

特許紹介

第25巻第8號 昭和14年8月

コンクリート振動機

(特許第129790號 發明者(特許權者)和氣一郎)

此の振動機の構造は、共軸関係を與へて形成した大小兩円筒(1)(2)に、1体を爲して働するピストン(3)(4)を密挿し、兩ピストンに其の軸線に沿ひ通氣孔(5)を貫通し之に杆状弁(6)を挿通してピストンの進退に依つて通氣孔を開閉するやうにし、且つ大円筒(2)の適所に排氣孔(7)を開きさせ、ピストン(3)(4)の進退に応じ調節位置に停止せる杆状弁(6)に依り大ピストン(4)の後端側に向ふ給氣を司掌せしめ、又大円筒(1)の適所に大ピストン(4)の進退に依り排氣孔を開閉せしめるやうにしたものである。之に依ればピストンの進退に關聯して交互反對側に生ずる圧力の変化に依りピストンに急激な往復動が生ずる(図-1)。図-2は之を鏝に施したものである。

図-1.

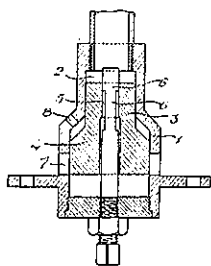
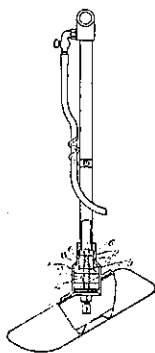


図-2.

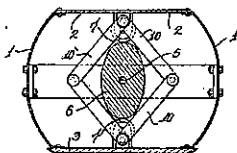


コンクリート振動機

(特許第130048號 發明者(特許權者)和氣一郎)

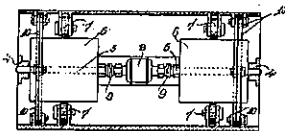
此の振動機は、彈性側板(1)(1)を2枚相對設し、其の上端と下端とは夫と平板から成る衝動板(2)(3)を設けて高さを調節し得る彈性胴を形成し、胴の中央部に軸承(4)(4)に依り横軸(5)を架設し、横軸(5)の適所に比較的質量の大なるカム(6)

図-3.



(6)を固着し、カムに對應した衝動板の内側にローラー(7)(7)を設けて、カムが回転すればローラーを介して側板(1)

図-4.



(1)を伸長させて之に微細で急速な伸縮動を起させるやうにしたものである(図-3, 4)。

特殊形状の下状を取付けたる道路構築用鋼格子板

(特許第13024號 發明者(特許權者)ボーレス兄弟合資会社)

此の格子板は、鋼格子を構成する下板に肋骨型(1)、アーチ型(3)その他の形状の隆起部を全長に互り(又は不連続的に)設け、隆起部の數及形状に応じて條板(6)の下流を彎曲凹入(5)して此の部分を隆起部に固着したもので、之に依れば敷設して移動する事なく堅牢で且つ製作特に熔接容易なる特長がある(図-5, 6)。

図-5.

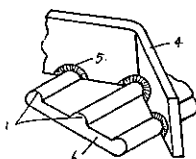
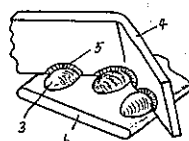


図-6.



輕量コンクリートの製造法

(特許第13065號 發明者(特許權者)カール・イビア・アンダーヌス・ユグルンド)

此の發明は、物理的性質を改良し特に其の機械的強度の大なる輕量コンクリートを得んとして考案したものである。從來水、セメント、珪土に富む珪酸質物質、アルミニウム粉の如き瓦斯形成劑又は氣泡形成劑(所望ならば砂、砂利の骨材の併用す)に依つて輕量コンクリートを製造する事は一般に公知であるが、之はセメントと水とが結合する際に起る化学反応により多量の遊離水酸化カルシウム及珪酸二石灰ゲルを生ずる爲優良なる製品を得る事ができなかつた。此の發明は此の點を改良したもので、即ちセメント珪酸質物質との割合を大体セメント20~60%、珪酸質物質80~40%に、又該珪酸質物質の細度をセメントより大ならしめ其の物

質の全量が1萬眼(毎平方種)篩を通過するものを約8~16時間約150~200°Cで水蒸気処理して上記混合物中の石灰質分全部を珪酸一石灰に変化せしむるやうにしたものである。

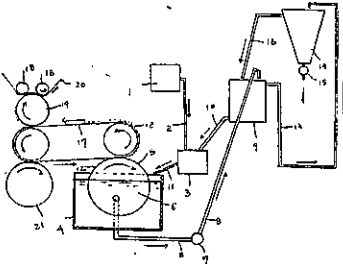
石綿セメント管製造方法の改良

(特許第130260-130262號)
(發明者(特許權者)中内實)

此等の諸發明は何れも抄紙機に入れる石綿セメント及水の混合物を抄紙筒により抄揚して回動無端帶に泥狀薄層として移着した後、芯型ローラーに累着する管製造方法の改良である。

‘60-’管製造工程中前記抄揚の陽抄紙筒(5)を透過した石綿セメント及水の濾過物を先づ最初の沈澱槽(9)に送り、其の上液を次の沈澱槽(14)に送り、更に其の上液を最初の沈澱槽(9)に返送し、最初の沈澱槽の下液を新規の石綿セメント及水と共に抄紙機(4)に送つて抄紙筒の抄揚に供するやうにしたもので、之に依り有効成分の廢出を減少し良質な管の製造に資せしめんとするのである(圖-7)。

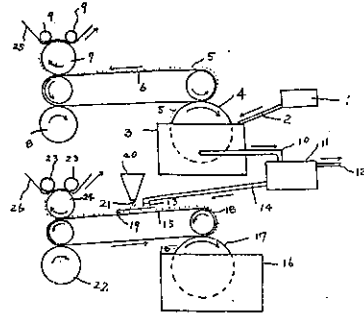
圖-7.



‘61-’之は抄揚の際抄紙筒(4)を透過した石綿セメント水の濾過物を脱水機(11)により濃度を高めた後、セメントと適當割合に混和して(又は別個に)他の石等の纖維質物及水との混合泥狀薄層帶(18)上に薄層狀に撒布して芯型ローラーに累層圧着する方法で、之に依り管製造中使用洩れとなつた最良質成分に對し変質

を來す部分を與へないで可及的多量に利用し材料の節約を図らんとするものである(圖-8)。

圖-8.



‘62-’之は薄層を累積するに従ひ挾圧の強さを漸減し、累層を終つた時適時間放置し、然る後漸減された前記挾圧の最低の強さより強い挾圧を全管周を回りローラーにより適當回数加へる方法で、之に依り比較的水分の多い管素材の薄層を厚く累着しても崩壞を來すことなく容易に管の強度を増加せしめんとするものである。

(附) 登録實用新案

鋼管製鍔付杭	(第265978號實用新案權者)	公告13年第19255號	小室規一
吊橋吊止具	(第266034號實用新案權者)	公告13年第16144號	瀧口藤藏
潜函用 コンクリートパイル	(第266117號實用新案權者)	公告13年第18642號	白石多士良
コンクリート面清掃機	(第266295號實用新案權者)	公告13年第17032號	佐伯謙吉
コンクリート杭築造装置	(第266303號實用新案權者)	公告13年第13562號	箱根正彦
長尺軌條敷設機	(第266477號實用新案權者)	公告14年第120號	鐵道大臣
コンクリート築造用外管	(第266575號實用新案權者)	公告14年第388號	河出辰吉
軌條匄進防止器	(第267192號實用新案權者)	公告13年第15859號	藤本仁一
廣狹兩軌條運轉裝置に於ける転輾裝置	(第267309號實用新案權者)	公告13年第1719號	齋藤謙治郎
コンクリート管の鉄筋	(第267566號實用新案權者)	公告14年第830號	旭コンクリート工業株式會社